

2021年度

自己評価アンケート
集計結果

鯉淵学園農業栄養専門学校
自己評価委員会

表。回答者の数と所属

所属	回答数	所属人数	回答率
アグリビジネス科	12	12	100
食品栄養科	8	9	88.9
農業技術センター	9	9	100
学務部	7	7	100
総務部	3	3	100
その他	3	3	100
総計	42	43	97.7

※調査期間2021年1月31日 ~2月14日

※Webフォームによる記名式アンケート方式

1. 教育理念・目的について

総合評価

2.5

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	管理部	その他	平均
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	2.4	2.5	2.6	2.6	2.7	2.0	2.5
1-2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	2.3	2.5	2.6	2.3	2.3	2.0	2.4
1-3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.3	2.8	2.7	2.3	2.3	2.7	2.5
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	2.3	2.8	2.8	2.4	2.3	2.3	2.5
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2.3	2.5	2.7	2.3	2.3	2.3	2.4
	平均	2.3	2.6	2.6	2.4	2.4	2.3	2.5

コメント

- 1 特に無し
- 2 ホームページの刷新により外部への発信は改善されているが、非常勤講師を含めた教育理念の浸透が不十分と感じる。
- 3 理念・目標は明確化しているが、ニーズに応えられているか疑問を感じるところがある
- 4 おおむね適切と考える
- 5 学校の理念・目的は立派だが現実と離れているため、回答に苦しむ
- 6 畜産コースについて、繁殖関係の専門科目に集中しすぎている。
- 7 若者にとって農業人や栄養士が魅力的なのかどうか。歴史があることはいいことだが、学生にとっては現在どうなのかが重要である。
- 8 ヒューマニティを基調とした。ずっと使っているのもう少し、わかりやすい表現に変えても良いと思う。
- 9 理念と目的は掲げられているだけ。実行する人がいない。
- 10 将来構想は描いていると思う
- 11 教育理念に対して近年の入学生のレベルの差を感じる。また多様な社会的ニーズに対しての教育内容の見直しは必要と考える。
- 12 将来的な学校構想を明確化していくようにする。

2. 学校運営について 総合評価

2.4

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	管理部	その他	平均
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.2	2.8	2.9	2.6	2.3	2.3	2.5
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.3	2.8	3.0	2.4	2.3	2.3	2.5
2-3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.2	2.5	2.2	2.3	2.7	2.0	2.3
2-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2.0	2.5	2.2	2.3	2.3	2.3	2.2
2-5	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	2.1	2.5	2.4	2.3	2.3	2.7	2.3
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.3	2.8	2.9	2.3	2.7	2.3	2.5
2-7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	2.4	2.8	2.6	2.4	2.7	2.3	2.5
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.2	2.5	2.4	2.3	2.7	2.0	2.3
	平均	2.2	2.6	2.6	2.4	2.5	2.3	2.4

コメント

シラバスの公開が一部不十分である。情報システムの刷新も課題となる。

特に無し

まず、入学希望者が伸びない状況の改善を図るべき。どうすれば入学希望者が増えるのかを真剣に考えるべき。

向上を目指しているが、業務効率化は不備

内外情勢が流動的な中で効率的な運営が求められる

長期計画のもとに計画的、効果的な運営を望む。

業務の効率化のための情報システム化は、遅れていると感じるし、意思決定システムがあっても、機能しないときがあることは、改善すべきと思う。

本校最大の問題。どんな学校にしたいのか、予算はいくらで、何年後をめどにどうしたいか、直近でやらなければならないことは何か、どこまでをゴールとするのか分からない。分からない中で個人個人が行動しているものを経営陣が巡回・監督しないため、職員がばらばらに見える。

専門職大学構想については、よく聞か、具体的にどのように(大学化を)進めるのか、よくわからない。

何事も決定するのが遅すぎる。

情報の共有をより効率的にする。

3. 教育活動について

総合評価

2.4

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	管理部	その他	平均
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2.3	2.5	2.7	2.4	2.3	2.3	2.5
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2.4	2.4	2.7	2.3	2.3	2.7	2.5
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.4	2.1	2.8	2.6	2.3	2.3	2.5
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.5	2.5	2.7	2.4	2.3	2.0	2.5
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.3	2.5	2.8	2.6	2.3	2.3	2.5
3-6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2.7	2.4	2.7	2.6	2.7	2.3	2.6
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2.3	2.3	2.4	2.6	3.0	1.7	2.4
3-8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.4	2.5	2.3	2.4	2.7	2.3	2.4
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2.2	2.3	2.1	2.6	2.7	2.0	2.3
3-10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2.5	2.3	2.3	2.6	2.7	2.3	2.4
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.4	2.5	2.3	2.3	2.3	1.7	2.3
3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2.3	2.9	2.7	2.3	2.3	2.0	2.5
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.3	2.9	2.7	2.4	2.3	2.0	2.5
3-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.1	2.8	2.2	2.6	2.7	2.0	2.4
3-15	平均	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.1	2.4

コメント

- 1 授業評価の実施方法にやや問題がある。コロナ禍で難しいが職員能力開発の機会を積極的に出す必要がある。
- 2 特に無し
- 3 学生による授業評価が授業改善に結びついていない。
- 4 修業年限見直し検討必要
- 5 職員の研鑽を拡充する必要がある
- 6 人材育成のための教員の確保については、経営上の問題もあり満足できるものとは言えない。
- 7 時代背景にあったカリキュラム改編が遅れている事、カリキュラムにあった講師の確保が難航している事の改善が必要。
教員は学生を馬鹿にしている。ある場所で、いる人間に対して、あるものを使って最大限の成長を促すのが教育である。更新されない一方的な知識を押し付けて、最近の
- 8 学生は学ばないというのは教師失格であることを知らない人が教鞭をとっている。高校の進路担当の先生が見ているのは、どの程度の学生を送ったら、どの程度の人間に育ち、どういう就職をして人生を歩むかである。
- 9 授業評価は、実施している。
- 10 教授力、指導力向上を目指し自己努力とともに、研修・セミナー等への参加機会を増やしたい。
- 11 カリキュラムを見直して休講になった空き時間を見直す。

4. 学修成果について

総合評価

2.5

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	平均
4-1	就職率の向上が図られているか	2.3	2.4	2.9	2.4	2.7	2.0	2.5
4-2	資格取得率の向上が図られているか	2.6	2.4	2.6	2.7	2.7	2.3	2.5
4-3	退学率の低減が図られているか	1.9	2.6	2.7	2.4	2.7	2.3	2.4
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.4	2.5	2.8	2.6	2.7	2.3	2.5
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.2	2.6	2.6	2.6	2.3	2.0	2.4
	平均	2.3	2.5	2.7	2.5	2.6	2.2	2.5

コメント

- 1 アグリビジ 初科で学生が望む資格であるか検討が必要かと思う
- 2 卒業生達の就職率の推移や就職先リスト等のデータがあれば、全職員に共有して頂けると有難い。
- 3 入学した学生の徹底的なケアがないため退学者を大勢出しているのではないか。
- 4 就職に前向きでない学生への対応必要
- 5 卒業生へのアプローチは体系化が遅れている
- 6 退学する学生は毎年10%弱程度である。学生の様子を観察して、話し合っ、学校に来てもらえるように努力はしているが、結局退学してしまう学生がいる。
- 7 指導、取得を勧められる資格を増やすことで、教育活動のさらなる改善を行うべき。
- 8 もっとキャリア教育を学んで力を入れないと学生は減る一方である。
- 9 就職担当の先生を中心に就職率の向上が図られていると思う。
- 10 各種資格の合格率、技能的習熟度の向上のために更なる改善が必要
- 11 学生の就職先を増やす。

5. 学生支援について

総合評価

2.5

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	平均
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	2.5	2.3	2.7	2.4	2.3	2.3	2.5
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	2.0	2.4	2.8	2.7	2.3	2.7	2.4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2.6	2.4	2.4	2.7	2.7	2.0	2.5
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.1	2.8	2.3	2.1	2.7	2.3	2.3
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	1.9	3.0	2.6	2.4	2.7	2.7	2.5
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	2.1	3.0	3.0	2.6	2.3	2.3	2.6
5-7	保護者と適切に連携しているか	2.3	2.5	2.9	2.4	2.3	2.3	2.5
5-8	卒業生への支援体制はあるか	2.1	2.8	2.6	2.6	2.3	2.3	2.4
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.3	3.0	2.6	2.7	2.3	2.3	2.6
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.1	2.5	2.7	2.6	2.3	2.3	2.4
5-11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	2.3	2.5	2.2	2.4	2.3	2.0	2.3
	平均	2.2	2.6	2.6	2.5	2.4	2.3	2.5

コメント

- 1 以前あったサークル活動を再開すべきである
- 2 特に無し
- 3 国際農業コースの学生に退学者が多いことから、学生支援のあり方に疑問を感じる
- 4 専門部署、専任職員の不備がある
- 5 在籍している学生への支援はおおむね良好だが、保護者・卒業生・高校との連携はやや弱い
- 6 卒業後の再教育については、最後まで面倒を見るという観点から業界と連携して行うべき。
- 7 相談できる体制はあるが、相談された教職員の支援・指導力の差を感じる。多少の改善が必要。高校等との連携は、具体性をもって強化が必要。

8 私は関係ないと思っている教員がいることが衝撃的。事務室が挨拶できないのも、学生が来ているのに対して迎え入れた話を聞こうとしないのも職務怠慢である。他の企業の場合は、お偉方が来たら全員で入退室の出迎えや見送りをするのが普通で、最低限全員起立して笑顔で見守るくらいことはする。本校では一瞥もくれない職員が多数。考えられません。

- 9 学生寮については保護者を交えた配慮が必要だと感じます。
- 10 「高等専修学校」というのは、「高等専門学校」のことなのでしょうか。
- 11 国際コースについて進路・学費納入方法等についての改善が必要
- 12 寮等の学生相談をもっと行い支援する。

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	平均
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.4	2.8	2.1	2.7	2.7	2.3	2.5
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	2.3	2.8	2.4	2.3	2.7	2.3	2.5
6-3	防災に対する体制は整備されているか	2.4	2.8	2.2	2.6	2.0	2.3	2.4
6-4	実習施設について衛生観念の教育を実施している	2.5	2.3	2.9	2.1	2.3	2.3	2.5
6-5	学生の図書館や情報処理室の積極的利用を勧めているか	2.4	2.8	2.7	2.6	2.0	2.3	2.5
	平均	2.4	2.7	2.5	2.5	2.3	2.3	2.5

コメント

- 1 教育設備の更新を検討した方がよい。学生の購読したい専門書の導入が必要かと思う。
- 2 図書館の本が古い、現在の本があまりないです。
- 3 特に無し
- 4 リフォームするなど改善は図られていると思う
- 5 施設・設備はあるが古いものが多く存在。防災に対する体制も不備が見受けられる。
- 6 求められている教育水準の変化に合わせた整備は継続すべき
- 7 防災マニュアルの確認・実施が必要、防災訓練等を行うべき。
- 8 設備の老朽化や不足があり、次代にあった教育上の必要に十分あった施設設備が整っているとは言い難い。
図書館の活用は、蔵書に限らないデータ検索システムの構築が進めば、積極的利用しやすくなる。
- 9 古いものは仕方ないが、もっと有効活用できるよう話し合ったり、伝え合ったりすべきかと思う。
- 10 インターネットを使用することも多いので安定したネット環境を求めます。
- 11 インターンシップについては、コロナ禍のなか、色々な人に文句を言われながら、なんとか実施できた。
- 12 両農場について生産基盤の改善をすすめる事が教育効果の向上へと結びつくと考え
- 13 防災に対する整備等を行うようにする。

7. 学生の受入れ・募集について総合評価

2.4

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	平均
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	2.3	2.5	2.7	2.6	2.3	1.7	2.4
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	2.4	2.4	2.4	2.7	2.3	1.7	2.4
7-3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	2.5	2.1	2.7	2.6	2.7	2.0	2.5
7-4	学生納付金は妥当なものとなっているか	2.2	2.3	2.3	2.6	2.3	1.7	2.3
	平均	2.4	2.3	2.5	2.6	2.4	1.8	2.4

コメント

- 1 授業料等の見直しが必要と感じられる。
- 2 卒業生に対する評価、卒業生の評価を重要視すべき
- 3 昨今の事情から募集活動は思うように行えない。
- 4 現代の高校生・保護者・進路指導現場に即した活動をさらに追求する必要
- 5 高校や公共機関などにパンフレットを配り学校の宣伝を多く行ったほうが良い。
- 6 高校生の入学者が減っているので、社会人をターゲットにした活動を模索すべき。
- 7 コロナ禍による失業人口増加、家計収入減の中、進学を希望する高校生への対応が、他校と比べやや疎かに見える（他校HP参照）。
- 8 将来的には安くできたらいいと思われる。
- 9 学生募集の際、何を話せばよいか研修を行うべきである。留学生がお金を払っていないことについては、理解できない。
- 10 戦略室を中心に頑張っている。
- 11 納付金はやや高いと感じる。募集に関して、しっかり説明も含めて訪問する。

8. 財務について

総合評価

2.2

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	平均
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	1.8	2.6	2.1	2.0	2.3	2.0	2.1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.0	2.8	2.7	2.1	2.3	2.0	2.3
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	1.9	2.5	2.2	2.1	2.0	2.0	2.1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	2.0	2.6	2.3	2.4	2.0	2.0	2.3
	平均	1.9	2.6	2.3	2.2	2.2	2.0	2.2

コメント

- 1 学生数の減少により収入が減少している。
- 2 各部署の各職員が財務の黒字化を意識して行動すると良いと思う。
- 3 不安要素が多すぎる
- 4 学生数確保が必要
- 5 予算・収支計画の初案作成時期が遅すぎると感じるし、ボトムアップに傾いている予算作成の一部でも良いので、トップダウンに変更すべき。
- 6 財産がどれくらいあって、どのような収入を見込んで、どう支出されているのか不透明。このまま財政が黒字化するとは思えず、不安しかない。なのに、古くからいる職員は何も感じてないように思えることが学園の非常識。
- 7 財務については「ノーコメント」でお願いいたします。
- 8 不安です。
- 9 予算収支を各部門把握し管理を厳重にする。

9. 法令などの順守について 総合評価

2.5

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	平均
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2.5	2.6	2.4	2.7	2.3	2.7	2.5
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2.3	2.8	2.6	2.4	2.7	2.7	2.5
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.3	2.8	2.4	2.1	2.7	2.3	2.4
9-4	自己評価結果を公開しているか	2.4	2.5	2.1	2.3	2.3	2.3	2.3
	平均	2.4	2.7	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5

コメント

- 1 特に無し
- 2 特になし
- 3 おおむね適切と思われる
- 4 自己評価については、学科の評価が異なるため、学校全体の評価に影響している。
- 5 昨年の自己評価結果にもとづく十分な改善を個人的にも、組織的にも行ったとはいえない。
- 6 文化祭で来校した卒業生に対して、学校の汚点をべらべらしゃべってしまう教授がいて、卒業生はそれをSNSに投稿する。気が狂ってるとしか思えない。
- 7 PC環境が古くなり、個人情報のデータ管理に不安あり
- 8 「専修学校設置基準令」は、内容が甘いので、遵守できていると思う。
- 9 特にありません。

10. 社会貢献・地域貢献について 総合評価

2.5

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	総計
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.3	2.6	2.4	2.4	2.3	2.7	2.4
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.3	2.9	2.7	2.6	2.3	2.3	2.5
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2.3	2.8	2.6	2.7	2.7	2.7	2.5
	平均	2.3	2.8	2.6	2.6	2.4	2.6	2.5

コメント

- 1 特になし
- 2 ノーコメント
- 3 地域に対してもっと貢献する努力が必要
- 4 コロナ下で制約があるが、積極的な交流をする素地は整備されている
- 5 体験学習で子供たちが芋ほりなどを行い、農業のことを知ってもらっている。学園祭で健康祭を行い地域の方々に食塩の閾値と血圧とのかわりについて理解していただいている。
- 6 コロナ禍により、この項目に関する実行難易度が高く、不適切と答えざるを得ない。
- 7 コロナ渦であっても、近隣の幼稚園や学校・社会人に対して門戸を開いていることは素晴らしいことである。強いて言えば、その宣伝がなされていないことが問題。
- 8 ボランティア活動に関しては、今年度はコロナの影響で奨励できなかった。
- 9 公共職業訓練(講習会)は、毎年、実施しているため、評価できる。
- 10 学園回りのゴミ拾いや管理等は全体で行う必要がある。

11. 国際交流について

総合評価

2.5

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	平均
11-1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	2.5	2.6	2.4	2.6	2.3	2.3	2.5
11-2	受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	2.3	2.5	2.9	2.4	2.3	2.7	2.5
11-3	留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整備されているか	2.3	2.8	2.6	2.1	3.0	2.0	2.4
	平均	2.3	2.6	2.6	2.4	2.6	2.3	2.5

コメント

- 1 ノーコメント
- 2 個別的に難しいケースも多く、職員の負担が大きい
- 3 コロナ禍での留学生受け入れはうまくいかなかったが、コロナ禍終息後に期待する。
- 4 留学生への在籍管理を含む指導を数名の教職員しか把握していないことから、組織化、体系化できているとは言えないと思う。
- 5 せっかくの素晴らしい事業が、杜撰な体制で失われつつある。もっと他人事でなく真剣に全職員で対応すべきだと感じる。
- 6 コロナ禍で入国者制限下では見通せない
- 7 留学生の受入れのための、明確な戦略は、あるとはいえない。しかし国際農業コースの先生方のご努力に敬意を表したい。
- 8 留学生にもっと情報を理解しやすく伝達するようにする。

質問番号	質問	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	総務部	その他	平均
12-1	伝統を受け継いだ学風がある	2.3	2.4	2.8	2.4	2.3	2.7	2.5
12-2	鯉淵学園独自の確固たる学風がある	2.3	2.6	3.0	2.3	2.3	2.3	2.5
12-3	教員・学生ともに学びに意欲的である	2.2	3.0	2.6	2.1	3.0	2.0	2.5
	平均	2.2	2.7	2.8	2.3	2.6	2.3	2.5

コメント

- 1 学びに意欲的でない学生を意欲的にする事が難しいと感じる時がある。
- 2 学年毎に大きく異なるので、鯉淵学園独自の学風があるとは言い難い
- 3 その時その時のリーダーによって変化する
- 4 他に同じ学風を持つ学校が存在することを想像できない

5 学風は多くの学生が巣立ってこそできるものであって、学生数が少ない現状ではなかなか「らしさ」はできていないと思う。学生数が定員に近い状態になるためにも筋の通ったどっしりとした教育内容・環境資源が必要なのではないかな。

全寮制時代の学風を受け継いでいるとはいえないため、評価低め。

- 6 新たな事を毛嫌いし、ルーチン化された業務を変えたがらない教職員からは、意欲的な学びの姿勢を感じない。

(学風へのコメントではなく全体へのコメント) すべての質問項目で、適切=現状に満足してはいけないと思う。

- 7 あったのだろうと想像するが伝わらないので継承されていない。空き家で足を運ぶことがなくなった旧女子寮での学生イベント企画を、訳の分からない個人的な理由で阻止しようとする卒業生の職員がいるあたり、思い入れはあるのかもしれない。迷惑でしかないと付け加えるが...

- 8 伝統だけでなく、現代に合わせた新たな学風にシフトしていく時期かと思う。

- 9 伝統はある。また、鯉淵学園独自の確固たる学風もある。多分に。

- 10 学風は文化、伝統を維持し新しい学風にしていく。

2021年度 鯉淵学園農業栄養専門学校 自己評価結果概要

表1. 自己評価2021に回答した部署別人数

所属	回答件数	所属人数	回答率
アグリビジネス科	12	12	100.0
食品栄養科	8	9	88.9
農業技術センター	9	9	100.0
学務部	7	7	100.0
総務部	3	3	100.0
その他	3	3	100.0
総計	42	43	97.7

※調査期間2021年1月25日～2月5日

※Webフォームによる記名式アンケート方式

※2020年度 第1回学校評価委員会の答申を受けて、部署別の集計を行った

表2. 自己評価結果大項目部署別集計

大項目	総合評価2020	総合評価2021	アグリビジネス科	食品栄養科	農業技術センター	学務部	管理部	その他
1. 教育理念・目的について	3.1	2.5	2.3	2.6	2.6	2.4	2.4	2.3
2. 学校運営について	2.9	2.4	2.2	2.6	2.6	2.4	2.5	2.3
3. 教育活動について	3.1	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.1
4. 学修成果について	3.0	2.5	2.3	2.5	2.7	2.5	2.6	2.2
5. 学生支援について	2.9	2.5	2.2	2.6	2.6	2.5	2.4	2.3
6. 教育環境について	2.9	2.5	2.4	2.7	2.5	2.5	2.3	2.3
7. 学生の受入れ・募集について	3.3	2.4	2.4	2.3	2.5	2.6	2.4	1.8
8. 財務について	2.8	2.2	1.9	2.6	2.3	2.2	2.2	2.0
9. 法令などの順守について	3.3	2.5	2.4	2.7	2.4	2.4	2.5	2.5
10. 社会貢献・地域貢献について	3.1	2.5	2.3	2.8	2.6	2.6	2.4	2.6
11. 国際交流について	3.2	2.5	2.3	2.6	2.6	2.4	2.6	2.3
12. 学風について	3.1	2.5	2.2	2.7	2.8	2.3	2.6	2.3

適切…4 4
 やや適切…3 3
 やや不適切…2 2
 不適切…1 1